

見いつけた

令和3年度

立山町立釜ヶ淵小学校

第1学年 学年だより

4月号



ご入学 おめでとうございます

今年は、いつになく、気の早い春風が我慢できなくなくなって、温かな空気を運んでくれたおかげなのでしょう。学校の木々は、緑の新芽をぷくらさせて、新入生のみなさんが学校に来るのを今か今かと待ちわびていました。

今日からは、いよいよ1年生のスタートです。

小学生になったうれしさや、勉強ができるという希望に胸をふくらませて、学校に来られたと思います。どのお子さんの表情にも、入学の喜びと期待があふれていることでしょう。この喜びと期待を大切に、これからの1年間、自分で考えた目当てに向かって挑戦し、自分自身や仲間と解決したりしていくことができるよう、はりきっていきましょう。

学級では、「聞き合う」ことを大切に、一人一人が秘めているすてきな宝物(=個性)をみんなで探していきたいと考えています。そして、子供たちが毎日元気で楽しい学校生活を送ることができるよう、応援していきたいと思ひます。



担任紹介



NAME T. J

「元気よく」、「大好きに」、「ゆっくりと」、「じっくりと」、「とことん」子供たちと学習や活動に取り組んでいきたいと思っています。

趣味は、バラなどの花を育てることと読書です。教室にバラの花を持ってきて、子供たちに香りや色を楽しんでもらえたらと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



学年だより「見いつけた」について

学年だよりのタイトルを「見いつけた」にしました。

子供たちが「学ぶ楽しさ」を感じたり、「仲間のよさや価値」に気付いたりしながら、互いに切磋琢磨し伸びていくすてきな姿を見付けて応援していきたいという願ひから、名付けました。



ゆっくりと、育ちを見守って！

なわとびの話をしてします。

今から15年以上前のことでしょうか。

山の小さな学校で、私が1年生を担当した時の話です。

その学校でも、冬になると大変雪が降りますので、体育の授業では、なわとびを行いました。どこの学校にもあることなのですが、子供たちの中に、運動が得意でない一人の女の子がいました。女の子は、やっと1回なわを回して跳べる、それも、跳ぶフォームはどことなくぎこちない様子でした。私も学級の子供たちも、女の子がうまく跳べるようにと、あれこれアドバイスをしたり、励ましの言葉をかけたりし続けました。女の子も、必死で挑戦し続けました。しかし、1ヶ月たっても、1ヶ月半たっても、なかなかうまくなりませんでした。

2ヶ月がたち、一人一人にはできないこともあるから、仕方がないのかなと思った矢先、なんと、その子が5回、10回とどんどん跳び始めたではありませんか。私も学級の子供たちも、感激で大きな拍手と喜びの言葉を女の子に送りました。

その女の子が、修了式で、代表の言葉を言うことになりました。女の子は、全校の前で、自分がなわとびをたくさん跳べるようになったことを誇らしげに語る姿がありました。



今回、入学に際して、保護者のみなさまにこの話をしましたのは、「子供たち一人一人には、自分のスピードがある。ゆったりとした気持ちで、応援してあげてください」ということをお伝えしたかったからです。

お子さん一人一人の学んでいくスピードは違います。よそのお子さんと比較して、がんばりが足りないのだと、競争心をあおらないでください。自分の競争相手は、昨日の自分だけなのです。そのことを念頭において、お子さんの特徴をしっかりと見極め、励ましの言葉を送り続けたとき、自信をもってお子さんは「はじめの一步」を踏み出すことができます。そんながんばりを認められることで、お子さんは自信と勇気をもって、さらに次の一步にチャレンジしていくようになるのです。

そんな子供たちが小さな一步を積み重ねながら、自分の力で切り拓いていく元気いっぱいの子供たちに育ってくれるよう、ゆっくりと見守っていきたいと思います。この1年間、どうぞよろしく願いいたします。

